

みんなのひろば

秋の叙勲

十一月三日文化の日に秋の叙勲が発表され、日光市からは三氏が受章の栄誉に輝きました。

受章された三氏は、長い歲月、この道ひと筋に貢献してきた方々です。

勲五等瑞宝章

古橋清一氏



市遺族会連合会長で元市議会議員の古橋清一氏が、地方自治功勞で勲五等瑞宝章を受章しました。古橋氏は、明治四十一年五月十三日生まれで七十一歳。昭和二十六年四月、日光町議會議員に初當選、以来十六年間市政の発展に貢献されました。

昭和二十六年には、市民生活と觀光客を受け入れる觀光地として上水道の必要性を強く提唱し、その完成に尽力。また、オールシーズン型觀光地づくりのための市営霧降スキー場建設を市に要望、その実現に努めました。教育面でも、木造校舎から永久校舎への建て替

えに努力されるなど、永年にわたる地方自治に、献身的な情熱をささげ、尽力した功績が認められたものです。(御幸町五九六)

勲六等瑞宝章

寺山三郎氏



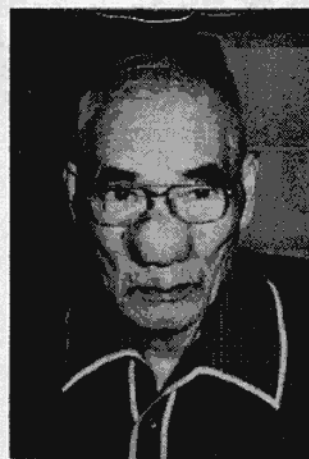
古河アルミニウム工業(株)日光工場を今年の九月に退職した、アルミニウム技術第一人者の寺山三郎氏が、アルミニウム板製造業務功勞で勲六等瑞宝章を受章しました。

寺山氏は、大正十年九月十日生まれで五十八歳。昭和十一年五月、古河電工(株)日光電氣精銅所に入社以来四十三年間、アルミニウムの加工、圧延業務に従事。その間、豊富な経験と知識をもとに、作業改善と技術革新に取り組み「熱間圧延油の成分確立」「プレージング条の大型化」「ソーキング炉の操作方法改善」など次々と創意工夫を行い、四十七年には「アルミニウム圧延用整直ロールの改良」で科学技術庁長官賞を受けました。今回の受章は、永年にわたりアルミニウムの加工技術向上の推進に大きく寄与した功績が認められ

たものです。(野口七四四一)

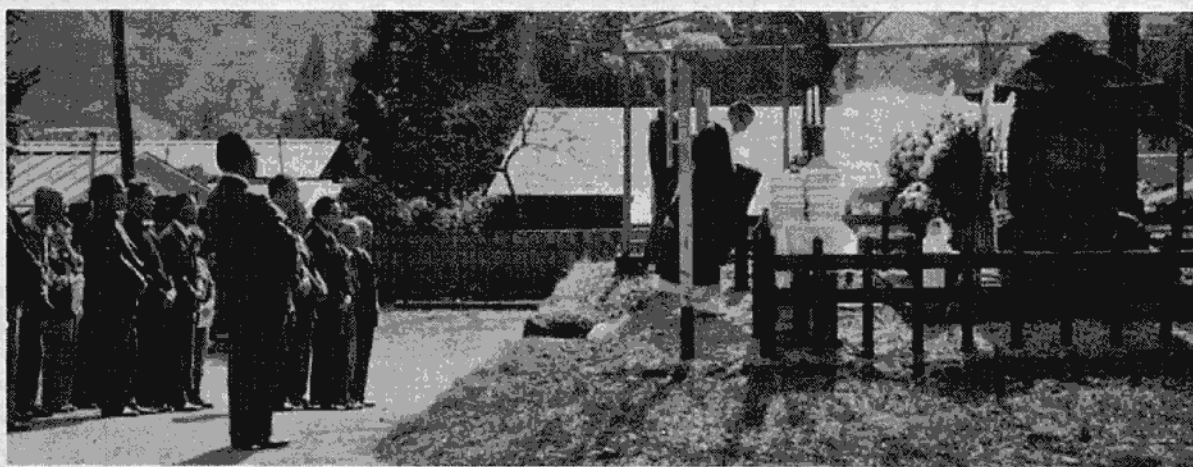
勲七等青色桐葉章

鈴木島吉氏



明治四十年から漆塗りひと筋に歩んでこられた漆工師の鈴木島吉氏が、漆塗業務功勞で勲七等青色桐葉章を受章しました。

鈴木氏は、明治二十八年一月十四日生まれで八十四歳。十二歳のとき宮内庁御用漆師に師事、その十年間、二重橋や坂下門の彩色修理に携わりました。大正五年漆工師として日光に移住。二荒山神社、同中宮神社殿、滝尾神社、五重塔、大猷院靈廟、神橋をはじめ、昭和の大修理といわれた陽明門の修復などを手掛けました。また、日光の伝統工芸である「日光堆朱塗」の保持に尽くすとともに、梨子地塗の黒地の下地に紅葉を押し描く「紅葉研出(ときだし)」の技法を創案しました。今回の受章は、社寺殿堂の修復、保存、および、わが国の漆器木工業界の発展に貢献した功績が認められたものです。(匠町六一七)



向山天神の遷座供養

向山天神

十月二十八日、匠町の浄光寺遊園地の一角に建てられた「向山天神」の遷座供養が行われました。「向山天神」とは、約三百年前、浄光寺付近に住んでいた社寺殿堂營繕の六職人の大工棟梁や木挽棟梁など十数人が、向山の麓に祀った天神様で、寛文四年(一六六四)

善意銀行

十月中に日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に、厚く感謝いたします。(敬称略)

- ◎要援護者に ▽知野イネ(稲荷町三丁目)千円 ▽中野俱明(横浜市)五千円
- ◎下野三楽園に ▽竹沢啓三(下鉢石町)千円
- ◎老人福祉に ▽星野ハナ(清滝一丁目)二千円 ▽鶴島俊一郎(安川町)千円
- ◎寝たきり老人に ▽小島芳一(本町)五万円
- ◎交通遺児に ▽匿名 四千円 ▽こうひいしよぶ珈紋お客一同(下鉢石町)一万三千円
- ◎身体障害者に ▽親和会孔版社有志(清滝二丁目)四千円 ▽佐藤源之進(南小来川)二千元
- ◎身体障害者友愛会に ▽生方重明(清滝三丁目)五万円
- ◎身体障害児に ▽匿名 三千円
- ◎恵まれない子に ▽植木善見(匠町)二千元
- ◎社会福祉に ▽沼尾ヤス(七里)千円
- ◎清滝三丁目自治会に ▽生方重明(清滝三丁目)一万円
- ◎清滝会に ▽生方重明(清滝三丁目)一万円